ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。
この旅行は2026年10月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

＜取消料＞
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

＜解除時期・取消料＞

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定航空会社

ANA（全日本空輸）
またはJAL（日本航空）
またはスカイマーク
日本トランスオーシャン航空

利用予定バス会社

石垣島＝南ぬ島交通
　　かびら観光バス
与那国島＝最西端観光
宮古島＝八千代バス
　　宮古協栄バス

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料・及び手配料金　②交通費：旅程に明示した航空機（エコノミークラス）貸切バス（ただし自由行動時を除く）③宿泊費：下記ホテル又は同等クラスのホテル（弊社基準）　石垣島＝ルートイングランディア石垣、ベッセルホテル石垣島／与那国島内＝民宿さきはら荘、エデンの幸 旅物語、民宿阿檀、ふじみ旅館、よしまる荘、旅の宿かふう、はいどなん、ぐまあーぐまあーぬ入船、さんぺい荘／宮古島内＝ホテルピースアイランド宮古島、ホテルライジングサン宮古島、ホテルサザンコースト宮古島
④食事代（朝3回　昼3回　夕2回）　⑤視察費用：手配料　⑥見学費用：旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料（自由時間は除く）　⑦旅行傷害保険（死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円）　⑧講師謝礼・同行諸経費　⑨添乗員同行の費用：1名

■旅行代金に含まれないもの
①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に　購入（お土産、飲食等）したもの　②ご自宅～空港までの交通費　③1人部屋追加料金（一人あたり12,000円/3泊）　※基本2～3名一室　④オプション代（3日目夕食「島唄と沖縄料理を楽しむ夕べ」）お一人7,000円

■**お部屋割りについて**
基本2～3名様/1室　※ホテルの状況によりお一人部屋の手配ができないこともあります。また、相部屋をご希望の場合でも、お部屋割りによりお一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。予めご了承ください。

旅行企画・実施　観光庁長官登録旅行業84号　JATA正会員
株式会社 富士国際旅行社
●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須　輝理
TEL：045-212-2101 FAX：045-212-2201
Mail：fuji@fits-tyo.com　担当：西須・山田・川村・小島
営業時間：月～金曜日／AM10：00～PM6:00
（土日・祝日は休ませていただきます。）
ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書　にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。（国内企画旅行取引条件説明書面の同封がない場合は、お申込書が届き次第、旅行社より郵送します。）
②**申込金20,000円**（旅行費用内金）または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。
（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）

郵便振替口座番号　00140-4-39332　加入者名　株式会社　富士国際旅行社
他金融機関よりお振込の場合　〇一九（ゼロイチキュウ）　当座　0039332

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。（領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください）
③ツアーの実施が確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などのご旅行資料を送付いたします。

き・り・と・り

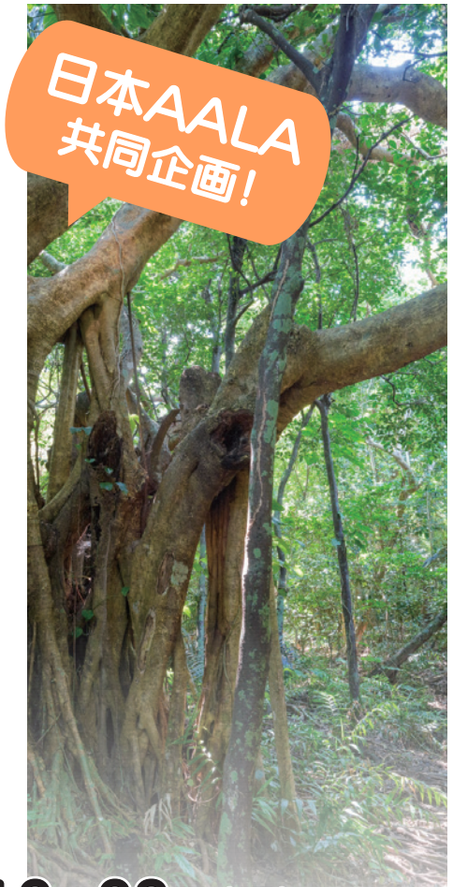
株式会社　富士国際旅行社　宛
●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書　日本AALA共同企画 石垣島・与那国島・宮古島３島をめぐる平和交流の旅４日間　出発日　□2026年12月25日（金）発　□2027年1月31日（日）発

ふりがな		性別	旅行出発時年齢	ふりがな		性別	旅行出発時年齢
氏名		男 女	歳	同行ご家族		男 女	歳
生年月日	年　月　日 生			生年月日	年　月　日 生		
住所	（〒　－　）			出発空港	希望空港に〇をお付け下さい↓ 羽田・伊丹・関西・中部・その他（　）		
電話 FAX 携帯番号 メール	（　）　－ （　）　－ （　）　－ @			参加人数及びお部屋割りについて	□１人部屋希望※一人部屋利用／別途12,000円がかかります。 □２名～３名部屋：（　）様と同室を希望 □２名～３名部屋：どなたでも良い(男女別)		
旅行中緊急連絡先	【連絡先名】　（続柄：　） 【住所】 【電話番号】			３日目夕食オプション	＜島唄と沖縄料理を楽しむ夕べ＞お一人7,000円 （　申し込む　・　申し込まない　）		
旅行社への連絡事項	アレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。						







日本AALA共同企画！

南西諸島で平和を考える
石垣島・与那国島・宮古島
3島をめぐる平和交流の旅

4日間

旅行期間　①2026年12月25日（金）～12月28日（月）
②2027年1月31日（日）～ 2月3日（水）

旅行代金　①198,000円　②194,000円　**添乗員**　羽田空港より同行
※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方はお問合せ下さい。

定　員　20名（最少催行人数 10名）　**申込締切**　①12月4日（金）　②12月25日（金）

旅の魅力

- 石垣・与那国・宮古の3島を訪れ、南西諸島で進む自衛隊配備問題を考えます。
- それぞれの島に暮らす方々と交流し、暮らしに及ぼす影響について直接お話を伺います。
- 島ならではの風景・郷土料理・民謡もお楽しみ下さい。

※本ツアーは日本AALAとの共同企画ですが、どなたでもご参加可能です。

企画

株式会社 富士国際旅行社
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7ヒューリックみなとみらい11F-4
日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
（略称：日本AALA）MAIL：info@japan-aala.org　TEL：03-6453-7297
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館6階

日程表　日本AALA共同企画　石垣島･与那国島･宮古島 3島をめぐる平和交流の旅　4日間

日次	都　市	時刻	交通機関	日程（宿泊）／食事
① 12/25 （金） ① 1/31 （日）	東京・羽田空港発 石垣空港着 ホテル着	午前 午後	航空便 バス	羽田空港集合（午前7:00～8:00予定） 空路、経由便または直行便で石垣空港へ **＜石垣島見学＞** ＊陸上自衛隊駐屯地周辺　平得大俣地区（外観） ＊暁の塔（自衛隊基地を遠望） ＊バンナ岳展望台　＊戦争マラリア犠牲者慰霊碑 ●地元の方から自衛隊配備問題について講演会 ★参加者夕食交流会★
				石垣島内ホテル泊／食事：×・×・夕
② 12/26 （土） ② 2/1 （月）	ホテル発 石垣空港着/発 与那国空港着 ホテル着	午前	航空便 専用車	空路、与那国空港へ **＜与那国島見学＞** ＊ティンダバナ ＊浦野墓地群、軍神大枡大尉の墓 ●地元の方と交流会 ＊東崎展望台　＊立神岩展望台 ＊与那国自衛隊駐屯地（外観）＊日本最西端の碑 
				与那国島内民宿泊／食事：朝・昼・夕
③ 12/27 （日） ③ 2/2 （火）	ホテル発 与那国空港着/発 石垣空港着/発 宮古島空港着 ホテル着	午前 午後	航空便 バス	空路、再び石垣空港へ **＜石垣島見学＞**＊八重山平和祈念館　＊憲法九条の碑 空路、宮古空港へ **＜宮古島見学＞** ＊陸上自衛隊 宮古島駐屯地 ＊野原岳レーダー自衛隊基地 ＊アリランの碑・高澤義人歌碑　＊憲法九条の碑 ◇夕食は各自自由食 （夕食オプション「島唄と沖縄料理を楽しむタベ」）
				宮古島内ホテル泊／食事：朝・昼・×
④ 12/28 （月） ④ 2/3 （水）	ホテル発 下地島空港 または 宮古島空港発 羽田空港着	午前 午後	バス 航空便	**＜宮古島見学＞** ＊保良地区（弾薬庫を備えた陸上自衛隊の訓練場） ＊東平安名崎 **＜伊良部島・下地島見学＞** ＊佐和田の浜（車窓）　＊侵食の池「通り池」 空路、経由便または直行便で羽田空港へ （羽田空港到着19:30～21:00予定）
				食事：朝・昼・×

※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性がございます。予めご了承ください。

与那国島ならではの泡盛『花酒』



◀日本最西端の島・与那国島でしか製造を許されない60度の泡盛が「花酒」（はなざき）と呼ばれます。島の文化として亡くなった人を火葬せず埋葬する際に花酒2本を一緒に墓の中に入れ7年後の洗骨の儀式の時に遺骨を取り出し、墓の中に入れた花酒で遺骨を清め、最後に花酒を掛けて火を付け燃やし遺灰にして再び墓の中に入れます。残りの1本は集まった人たちで故人を偲びながら7年古酒となった花酒を飲んだり、酒の飲めない人は故人が7年間大事に育てた薬として体の悪い部分に花酒を塗り、マッサージしながら悪い部分を故人に治してもらうという風習などから、与那国島の生活には欠かせないお酒として大切に守られてきました。



▲八重山諸島地図

石垣島　～美しい珊瑚が取り囲む八重山諸島の中心地～

沖縄本島から南西に410ｋｍ。石垣島は西表島・竹富島などからなる八重山諸島の中心地です。お店で賑わう市街地と、風光明媚な郊外の２つの顔があります。美しいビーチや珊瑚の海が広がり、夜空や夕焼けも楽しめます。

石垣島への自衛隊配備計画

2015年11月、防衛省が石垣市に対し自衛隊配備を要請しました。配備先候補地の３地区は石垣島の中央に位置する純農村地帯。パイナップル・マンゴーといった地域特産や畜産業が主要産業です。３地区すべてが自衛隊配備反対の決議をしています。主に観光産業が発展している石垣島への基地建設に対して、地元住民からは観光客激減や環境破壊等への懸念の声も上がっています。ツアーでは、ミサイル基地建設が進む平得大俣地区を見学し、地元の方のお話を直接伺います。

八重山平和祈念館

沖縄本島にある平和祈念資料館の分館として1999年に設立された八重山平和祈念館。石垣島や波照間島に暮らす人々はアジア太平洋戦争中、強制的に西表島などに移住させられました。そして、その場所がマラリア有病地帯だったため、多くの人々がマラリアの犠牲者となりました。八重山平和祈念館では、こうした戦争マラリアの実相を資料や写真、ビデオなどで知ることができます。



与那国島　～晴れた日は台湾が見える日本の最西端の島～

沖縄本島から南西へ約509km、面積28.95㎢の日本最西端の地、与那国島。隣接する台湾とは、約111kmの距離にあり、年に数回、台湾の山並みが見えることも。断崖絶壁に打ちつける荒波は力強く、自然・文化・歴史すべてが八重山の他のどの島にもない独特の雰囲気があり、訪れる人々を魅了しています。

浦野墓地群

大桝松市氏は1917年に与那国島に生まれ、1943年ガダルカナル島で戦死しました。沖縄県で初となる軍人感状を受けたことから「大尉に続け」と県内の戦争動員策に利用され、「軍神」と称え祀り上げられました。彼の墓は伝統的な亀甲墓では無く日本式です。



与那国島に配備された自衛隊レーダー基地

2016年3月28日、与那国島に陸上自衛隊が配備され約150人が駐留、沿岸監視隊が任務を開始しました。与那国島への自衛隊配備をめぐっては、2015年住民投票がおこなわれ、183票差で誘致が決まりました。

人口の15%を自衛隊が占めることとなり、与那国島の自治への影響や、レーダー基地があることによってもたらされる危険性についても反対の声が上がっています。自衛隊配備について、地元の方のお話を伺い、交流します。



宮古島　～変化にとんだ自然の風景と戦争の歴史をもつ島～

宮古は独自の文化を大切に育む宮古島、伊良部島、下地島、多良間島、水納島、池間島、来間島、大神島の8つの島からなります。宮古諸島の経済の中心となるのは8つの島の中でも最大の面積を誇る宮古島。翼を広げたマンタのような形をしたその島は、真っ白で粒子の細かい砂浜が東洋一美しいと絶賛される与那覇前浜や、日本都市百系に選ばれた東平安名崎など美しい自然が広がっています。

アリランの碑、女たちへ

アジア太平洋戦争時、宮古島に16か所、沖縄全体で131カ所の日本軍「慰安所」がありました。その記憶を未来の次世代に伝えるため、2008年9月8日、宮古島の住民たちと韓国の研究者、韓日市民たちが力を合わせて祈念碑と歌碑を建てました。日本軍性奴隷制被害者の女性たちの故郷12言語で書かれています。3つの祈念碑のうち、中央の碑には女性たちが好きだったという桔梗の花が刻まれています。今も続く戦争性暴力の象徴として、人権問題を考え、世界へ訴える碑です。





憲法9条の碑

沖縄県内では、那覇市・読谷村・石垣市・西原町・南風原町・宮古島市に「憲法九条の碑」が建立されています。宮古島市では平良のカママ嶺公園に、2007年6月23日の慰霊の日に建立されました。恒久平和への願いを込め、戦争放棄をうたった憲法九条の精神を後世に伝えていこうと、市民の募金で建てられ、宮古島市に寄贈されました。「九条条文」が碑に刻銘されています。



故･高澤義人氏

高澤義人氏は、1943年補充兵収集を受け、朝鮮と「北満」を経て44年秋に宮古島に移駐。劣悪な食糧などの中でマラリアと飢餓のために餓死する兵を荼毘に付す作業を行いました。戦後、不条理な戦争の実相を告発、平和の尊さを行動と短歌で訴え続けました。2005年、宮古で戦争のあったことを記憶に留め、反戦平和を誓い行動する記念碑にしようと、高澤義人「歌碑」が、上野の野原地区に建設されました。